

医療機関ならではの情報を わかりやすく届けていきたいです。

皮膚科のクリニックとして、2017年5月に愛知県蒲郡市に開院した「すずりん皮膚科クリニック」。
同クリニックの鈴木教之院長に「待合くん」を導入した経緯や実際の使用方法、
そして今後のさらなる活用について話を伺った。



すずりん皮膚科クリニック
鈴木教之院長

地元蒲郡市で、地域に根づいた 質の高い治療提供に努める

鈴木教之院長は「すずりん皮膚科クリニック」のある愛知県蒲郡市の出身。名古屋大学医学部を卒業後、同大学の附属病院や県内の病院勤務を経て、地元である蒲郡市に自身のクリニックを開院した。「出身地での開業ということもあり、地域の患者さんに寄り添い、長く、安心して通院していただけるクリニックでありたいと思っています」。これまで市民病院などの基幹病院で培ってきた経験を活かし、患者さんに一番近いところで、より質の高い治療の提供に努めている。

同クリニックの開業にあたり、以前から「待合室ではテレビ番組以外のものを使って患者さんに情報を提供したい」と考えていたと言う。何かよいツールはないかと探していた時、お付き合いのある業者さんが『待合くん』を扱っており、ホームページ

と連動して情報の更新をしてもらえるため導入を決めたと言う。導入の決め手について鈴木院長は次のように話す。「クリニックの待合室で流す情報ですので、信頼性の高いものでなければいけません。その点『日経メディカル開発』さんが監修されている『待合くん』であれば安心。そこが一番のポイントでした。また、皮膚科のコンテンツが充実していたことも決め手になりました。自由にオリジナルのコンテンツを入れることができたり、医療情報だけでなく自然や海外の美しい映像を流すことができたりするのも魅力ですね」。

医療機関として発信すべき 有益な情報を患者さんに提供

待合室では、患者さんにゆったりとした気持ちで過ごしてもらいたいと思っていた鈴木院長。『待合くん』を導入することで、テレビ番組の音声の代わりに音楽を流したり、壁に貼る掲示物を減らしたりするため、待合室の景観を保ちつつ、患者さんにしっかりと情報を伝えることができ、早速効果を実感していると言う。「待ち時間を利用して、患者さんにとって日々の健康管理に役立つ情報が提供でき、通常のテレビ番組を流すより医療機関として有意義な情報発信ができていると思います。番組の下部に流れるテロップを使って、すぐに伝えたい情報を患者さんに届けることが

できる機能も大変便利です。また、動きのある映像をモニターで表示することは、単に壁に掲示するより注目度も高く、大きな文字で説明できるため患者さんにとってのわかりやすさも優れています」。

クリニックの新たな取り組みも 「待合くん」を通じて積極的に告知

「すずりん皮膚科クリニック」では今後、レーザー治療機器を新たに導入するなど、自費診療を含め、患者ニーズに応じて随時診療内容を拡充していく予定と言う。「その際の告知や診療内容などを、『待合くん』のオリジナル番組として制作し患者さんに発信していきたいですね。また、ホームページでは公開しづらいような、具体的な料金や体験者の声などの情報も『待合くん』であれば、院内で完結できるため、比較的抵抗なく情報発信できますので、積極的に患者さんにお伝えしていきたいと思っています」と鈴木院長は『待合くん』のさらなる活用について語った。



(待合室)



(すずりん皮膚科クリニック)